

E・H・K型座 レバーハンドル錠 取付説明書

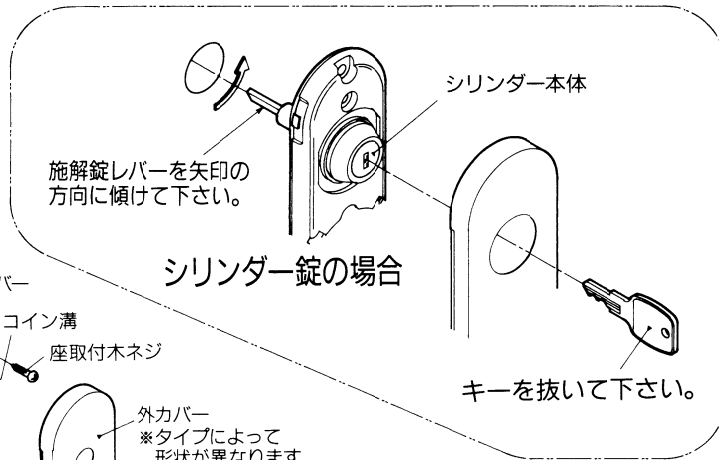
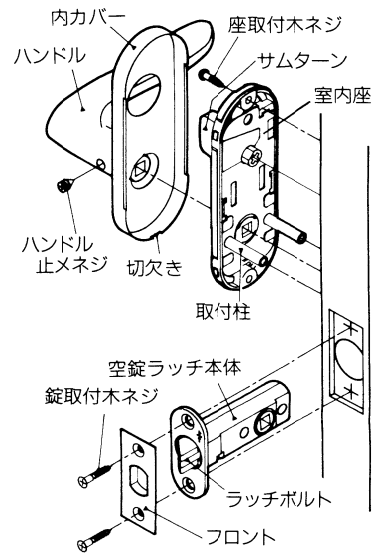
空錠・内締錠・表示錠・シリンダー錠

川口技研

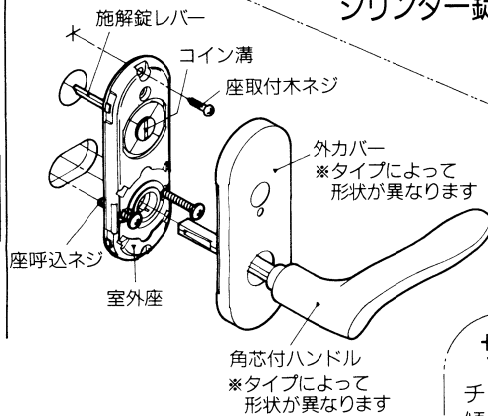
注意

- ※本製品は室内専用ですので、玄関や室外では使用しないで下さい。
- ※チューブラ錠仕様とケースロック仕様では、製品内容が異なります。
- 必ず、梱包セットのまま御利用下さい。
- ※ハンドル止メネジ及び座呼込ネジは電動ドライバーを使用しないで下さい。ネジ本体・取付柱を傷める恐れがあります。

チューブラ錠仕様の場合

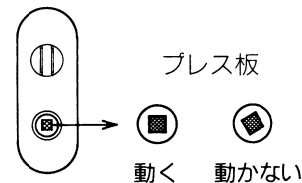


シリンダー錠の場合



サムターンの試し動きをされる時

チューブラ錠仕様の場合、プレス板が傾いているとサムターンは回りません。ハンドルの取付時と同じ水平状態にして、サムターンを回して下さい。



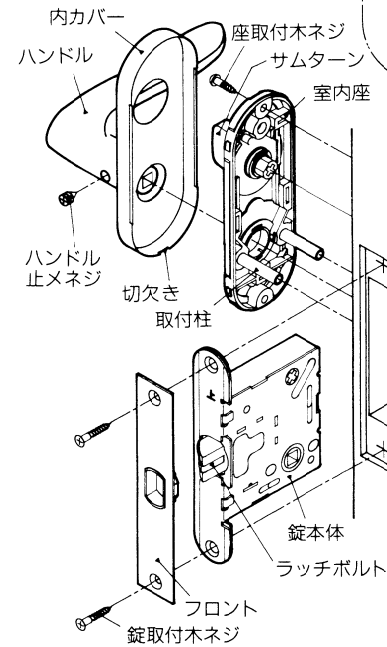
取付方法

1. 取付型紙を利用して、扉に彫込みを行って下さい。
2. 空錠ラッチ本体を刻印の向きに差込んで下さい。
3. ラッチボルトの向きを扉の勝手に合わせてからフロントを当てがい、錠取付木ネジで固定して下さい。
4. 室外座のコイン溝及び、室内座のサムターンを縦にして、室外座の施解錠レバーを室内座のサムターンの十字穴に差込み、内外の座を組合わせませう。
5. 芯出しのため内外の座を座呼込ネジで仮止めし、両側のハンドルを差込み調子を見て、動きの良いところで座呼込ネジを締付けてから、座取付木ネジで固定して下さい。
- 座取付木ネジを使わないと座が浮いてしまいます。必ず、使用して下さい。
- また、ドアを開けたままサムターンを回して正しく施解錠するかどうか確認して下さい。
6. ハンドルを一旦抜いてから、内外のカバーを切欠きを下にしてはめ込んで下さい。
7. 5と同様にハンドルを差込み、ハンドル止メネジで固定して下さい。
8. ストライクは裏面の切欠き寸法を参考に、ラッチボルトに合わせて取付けて下さい。

シリンダー錠の場合

9. キーをシリンダー本体から外して下さい。
10. 右上図のように施解錠レバーを傾け、室内座のサムターンを縦にして内外の座を組合わせませう。
- ドアを開けたまま、サムターン及びキーを回して、正しく施解錠するかどうか確認して下さい。

ケースロック仕様の場合

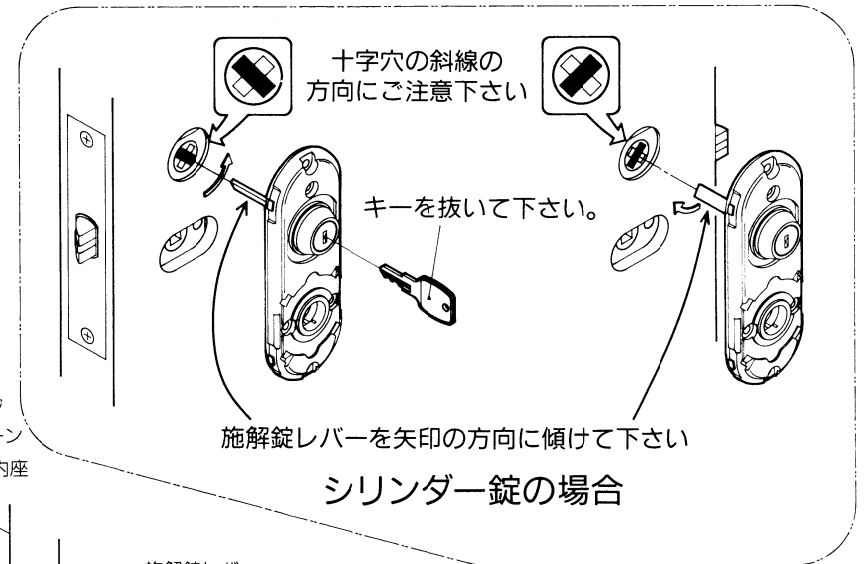


取付方法

1. 取付型紙を利用して、扉に彫込みを行って下さい。
2. ラッチボルトを指で押込んでみて、解錠状態であることを確認します。
3. 錠本体の刻印を上にして扉に挿入し、扉の左右勝手に合わせてラッチボルトを回転させませう。
- 錠本体にフロントを当てがい、錠取付木ネジで固定して下さい。
4. 室外座のコイン溝を縦にして、施解錠レバーを錠本体の上部の十字穴に通します。
- 室内座のサムターンも縦にして、内外の座を組合わせませう。
5. 芯出しのため内外の座を座呼込ネジで仮止めし、両側のハンドルを差込み調子を見て、動きの良いところで座呼込ネジを締付けてから、座取付木ネジで固定して下さい。
- 座取付木ネジを使わないと座が浮いてしまいます。必ず、使用して下さい。
- また、ドアを開けたままサムターンを回して正しく施解錠するかどうか確認して下さい。
6. ハンドルを一旦抜いてから、内外のカバーを切欠きを下にしてはめ込んで下さい。
7. 5と同様にハンドルを差込み、ハンドル止メネジで固定して下さい。
8. ストライクは裏面の切欠き寸法を参考に、ラッチボルトに合わせて取付けて下さい。

シリンダー錠の場合

9. キーをシリンダー本体から外して下さい。
10. 右上図のように施解錠レバーを傾け、錠本体上部の十字穴に通して、室内座のサムターンを縦にして、内外の座を組合わせませう。
- ドアを開けたまま、サムターン及びキーを回して、正しく施解錠するかどうか確認して下さい。



シリンダー錠の場合

